

2025年3月期 第2四半期決算 投資家向け説明会

2024年11月12日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4
1米ドル	138.11	145.44	147.00	147.87	156.53	150.26		
期末レート	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末	2024/6月末	2024/9月末	2024/12月末	2025/3月末
1米ドル				151.41		142.73		

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plc
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（LINEヤフーおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド等です。

当社を取り巻く環境

環境変化に対応できる柔軟な財務運営

地政学リスク

ロシア・ウクライナ戦争

米中問題
(含む台湾)

中東情勢

金融市場

振れ幅大きい
株式市場

S&P500

日銀の利上げ開始

0.25%

-0.1%
日銀政策金利

米金利動向

4.7%

米国10年国債
利回り

3.6%

AI市場の動向

生成AIの進化

データセンター建設加速
: 電力需要の逼迫

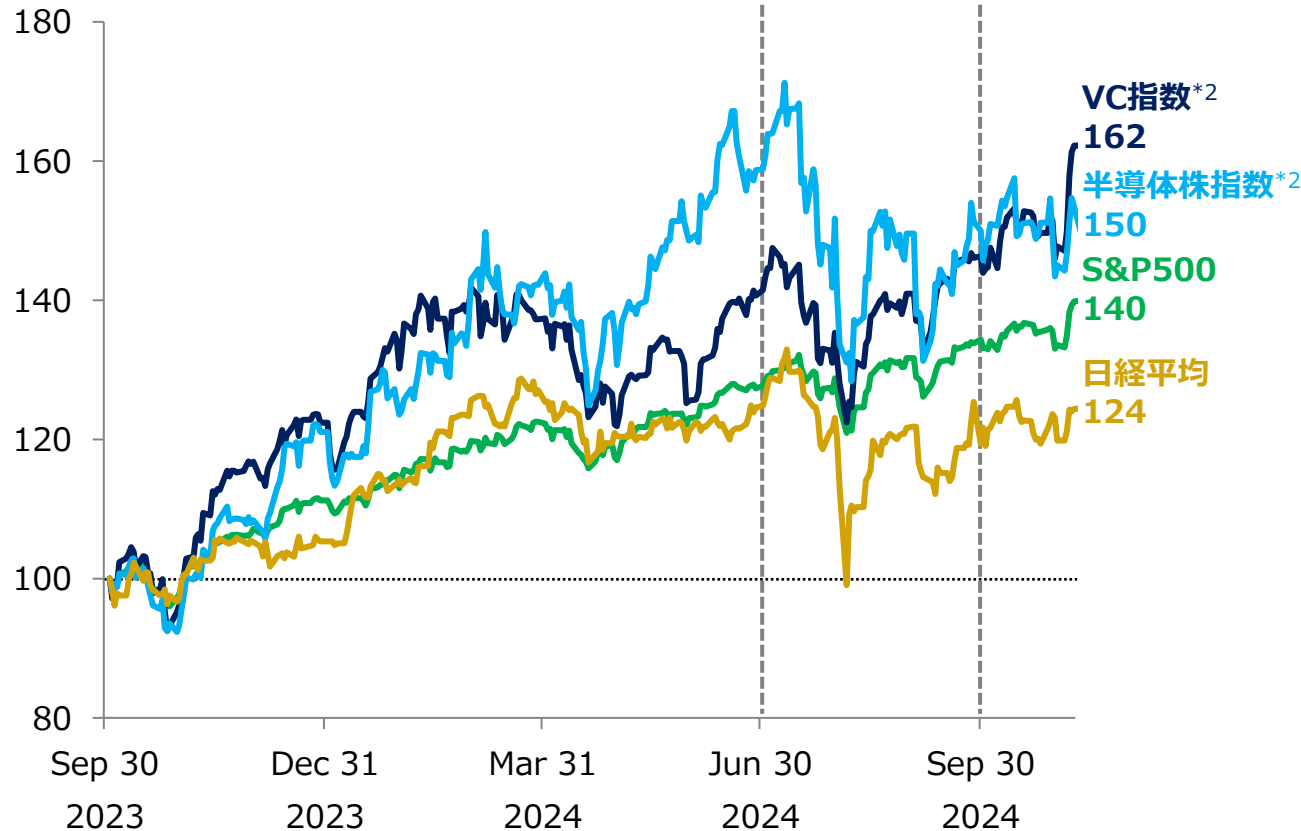
AI半導体の
開発競争激化

市場環境

株価指数は8月の急落から反発

為替は9月末までの円高進行から反転し、足元は円安基調

株価指数*1



為替 (ドル円)



(注) Bloombergを基に当社作成。2024年11月11日時点

*1 2023年9月末を100として指数化

*2 半導体株指数: フィラデルフィア半導体株指数 (SOX) 、VC指数: FTSE Venture Capital Index

FY2024Q2 財務サマリー

SVFを中心に投資利益が大幅に拡大 高い財務安全性を背景に直間比率を一部是正

NAV・LTV	<p>NAV 29.0兆円（前四半期比 -6.3兆円）</p> <p>LTV 12.5%（前四半期比 +4.7ポイント）</p> <p>純有利子負債 4.1兆円（前四半期比 +1.1兆円）</p> <p>手元流動性 3.8兆円^{*1}（前四半期比 -0.8兆円）</p>
財務	<p>ローン取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> - (9月)コミットメントラインの増額更改：8,156億円 (+1,070億円)^{*2} - (9月)新規タームローン：\$2.9B (4,139億円^{*2}) - (11月)ハイブリッドローンの増額リファイナンス：1,350億円 (+510億円)
投資	<p>投資利益が大幅拡大。SVFの累計投資損益が約2年ぶりに黒字化</p> <ul style="list-style-type: none"> - SVF事業 投資利益（四半期）：5,674億円（累計投資損益：\$698M） - Tモバイル株式に係る投資利益：3,871億円 - Q2投資額^{*3}：\$2.0B（OpenAI・Graphcore等への投資） - アーム株式取引対価の支払い：\$4.1B（8月）（残額：\$7.9B）
株主還元	<p>自己株式の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> - 取得総額（10月末時点）：1,748億円（取得枠：5,000億円） - 中間配当：前年度と同額の1株22円

*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。2024年9月末時点でコミットメントラインは全額未使用（8,156億円相当）。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）

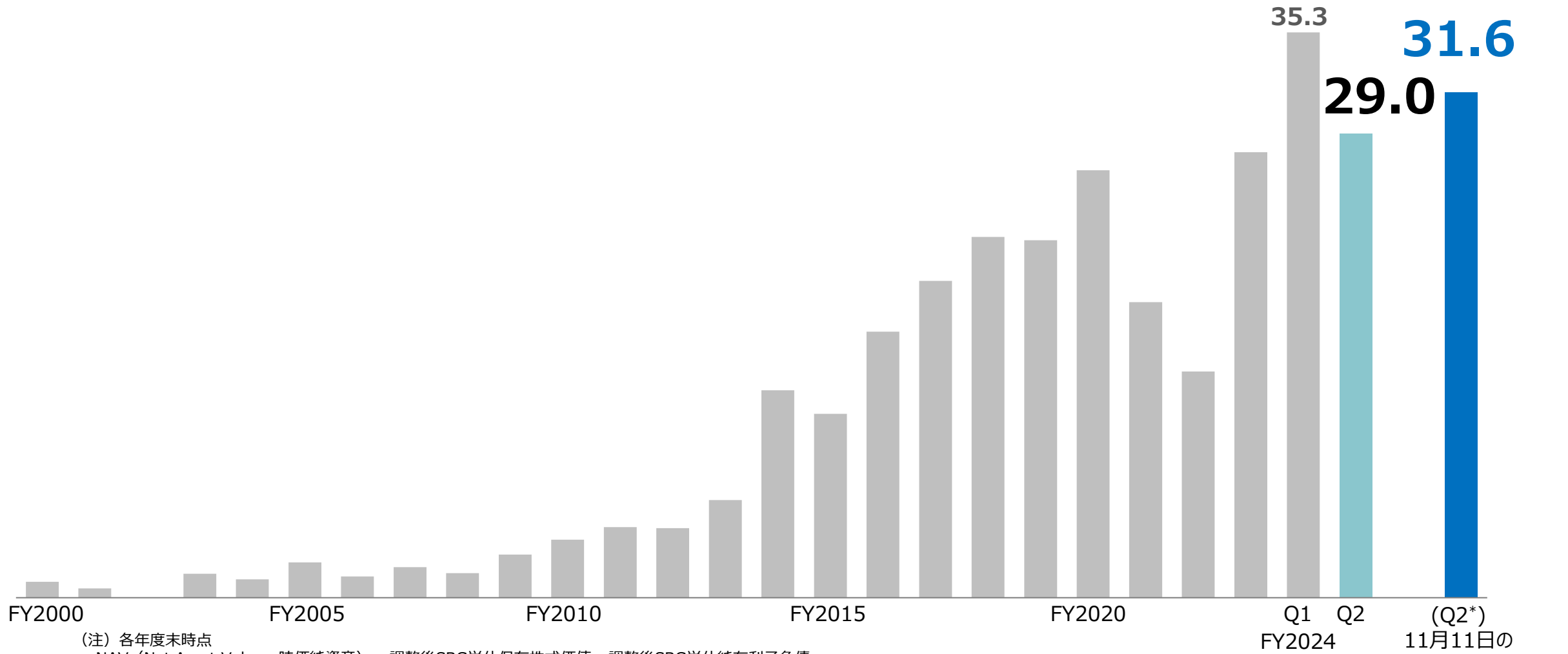
*2 1ドル=142.73円にて換算。コミットメントラインは\$5.5B+356億円。

*3 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く） + SBE GlobalおよびGraphcoreの子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額（グループ内取引に伴う投資額を除く） + SVF1、SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資額（株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。）

NAVの推移

引き続き、高水準を維持

(兆円)



(注) 各年度末時点

• NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

• NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。

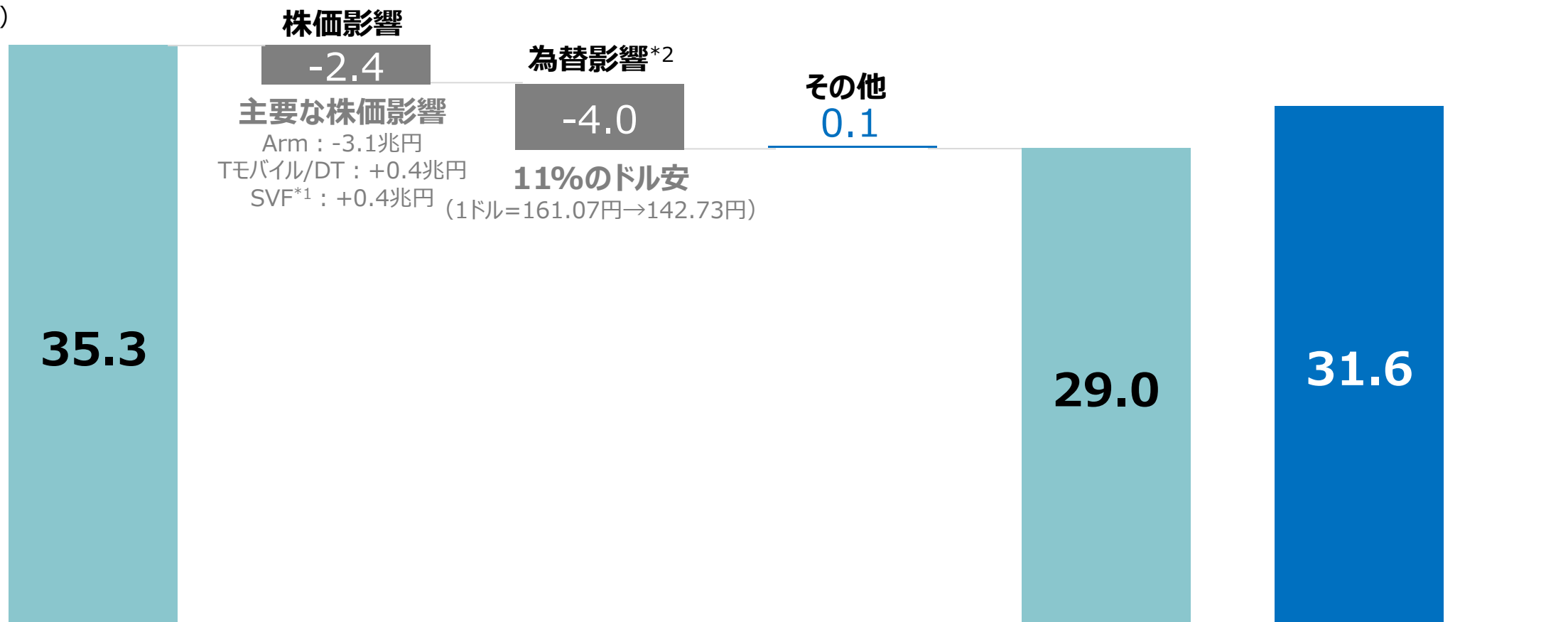
* 2024年9月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、同年11月11日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない

11月11日の
株価・為替レートを適用

NAVの変動要因

主に為替の影響によりNAVは6.3兆円減少

(兆円)



主要な株価影響
 Arm : -3.1兆円
 Tモバイル/DT : +0.4兆円
 SVF*1 : +0.4兆円

11%のドル安
 (1ドル=161.07円→142.73円)

2024年
6月末

2024年
9月末

(2024年9月末)
2024年11月11日の
株価・為替レート適用*3

(注) NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

*1 SVF:SVF1/SVF2/LatAmファンドの合計

*2 2024年9月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について2024年6月末時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算

*3 2024年9月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、同年11月11日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない

アーム株価推移

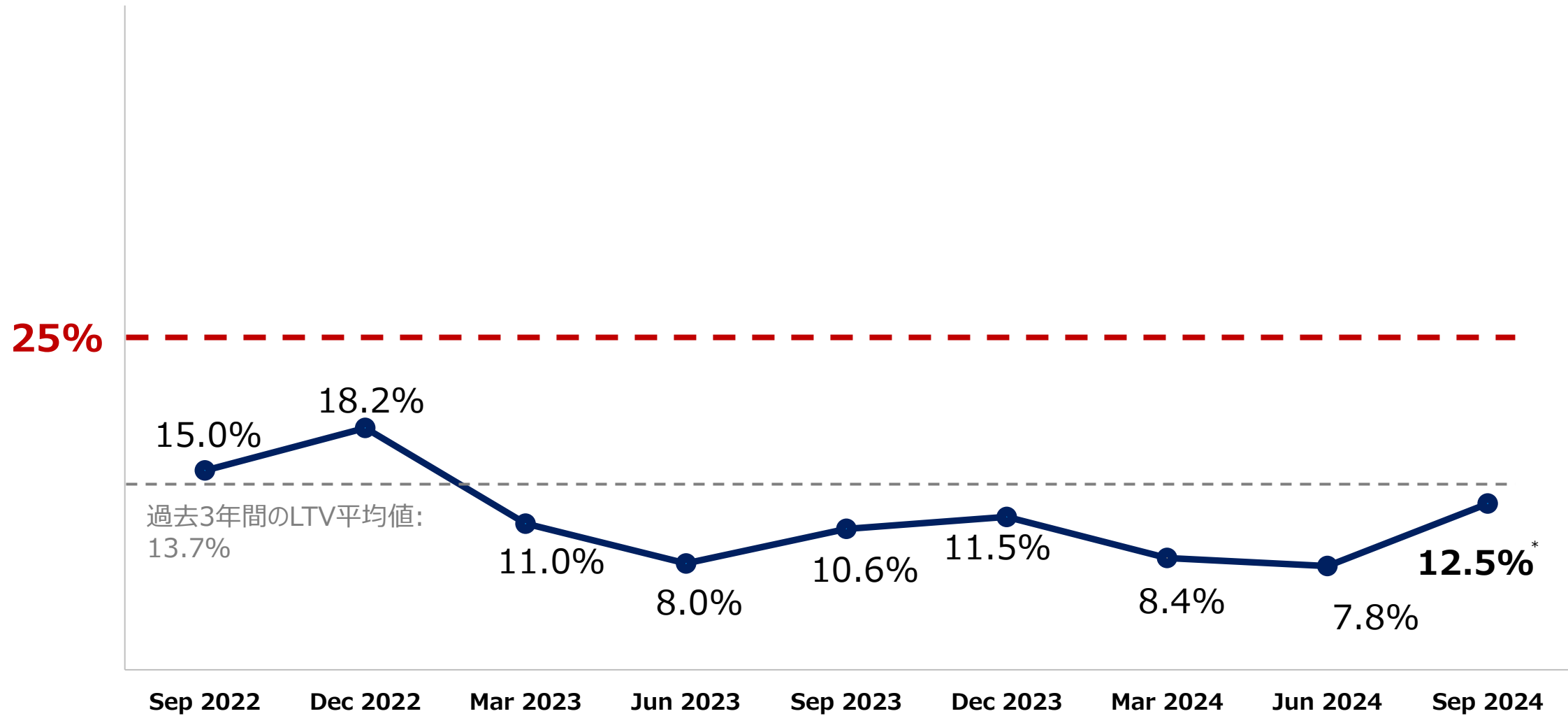
アナリスト目標株価は堅調に推移



(注) Bloombergを基に当社作成。2024年11月11日時点

LTVの推移

引き続き、余裕のある水準で推移



・ 各四半期末時点の数値を記載

* 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

為替リスクの考え方

短期的な為替変動には左右されず長期的な株式リターンを追求

米ドル投資による円建てNAVの変動リスク

為替変動による財務リスク

長期の株式価値の成長に集中

為替リスクも考慮したLTVコントロール

- 長期リターンの大部分は株式価値の成長によるもの
為替は一部にすぎない

IRRにおける為替要因*1 :

アリババ +1% (Total +57%)

スプリント +4% (Total +26%)

アーム +5% (Total +29%)

- 強い経済への投資 (米ドル)

当社ポートフォリオ (AI関連銘柄) のドル比率は9割

- LTVは常にバッファをもって管理
- LTVに対する為替インパクトは限定的
円建て調達手段を有するメリットがより大きい
10%のドル安 → LTVは1.2ポイント上昇に留まる*2
- 投資資金フローの大部分はドルで完結

*1 初回投資実施から2024年9月30日までの株式価値に係る投資およびリターンにより算出した円ベースのIRRと米ドルベースのIRRの差分 (税金考慮前)

*2 2024年9月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、9月末の為替レートから10%円高の為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない

大型投資実績と為替推移

過去の大型投資はいずれもドル高メリットを享受

米ドル円推移（2005年以降）



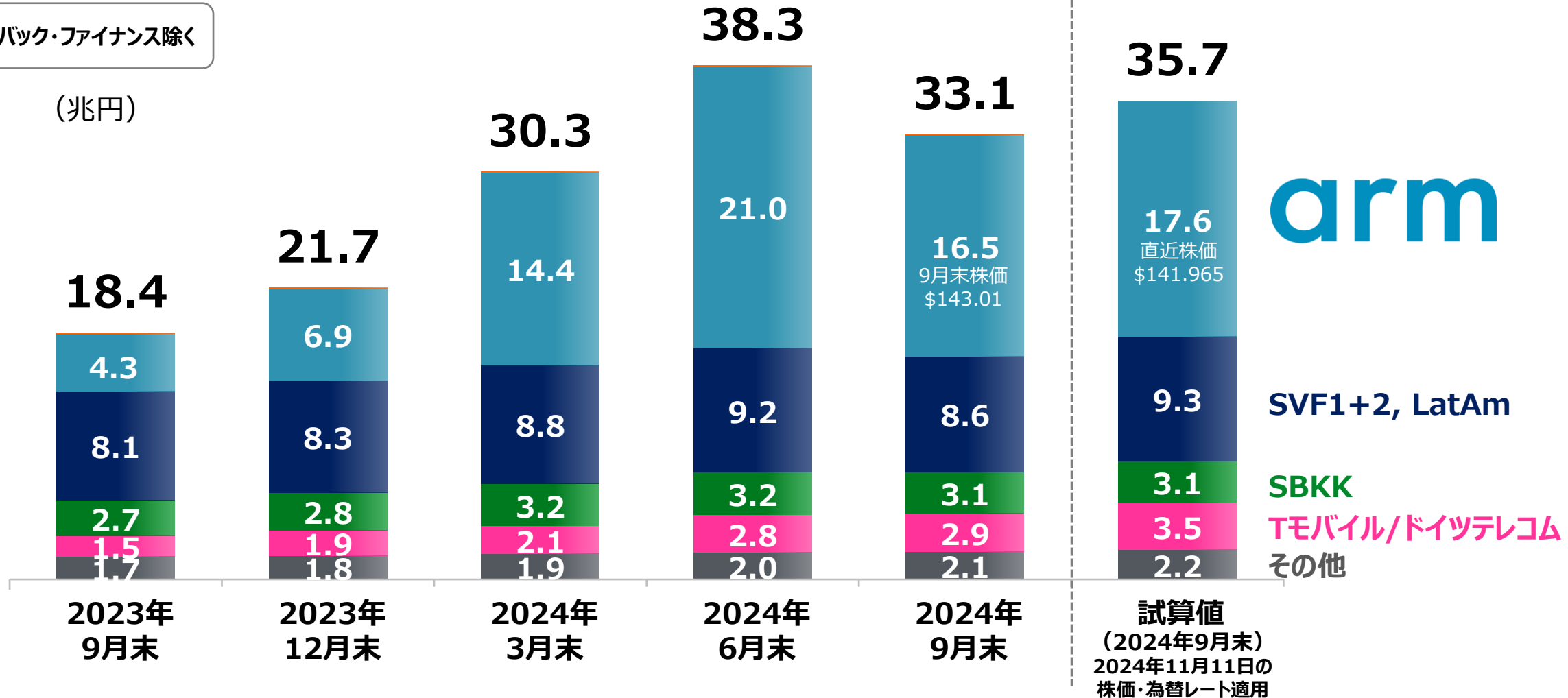
(注) Bloombergを基に当社作成。2024年11月11日時点

保有株式価値推移

6月末比、アームの価値減少により保有株式価値が減少
その他のアセットの価値は安定して推移

アセットバック・ファイナンス除く

(兆円)

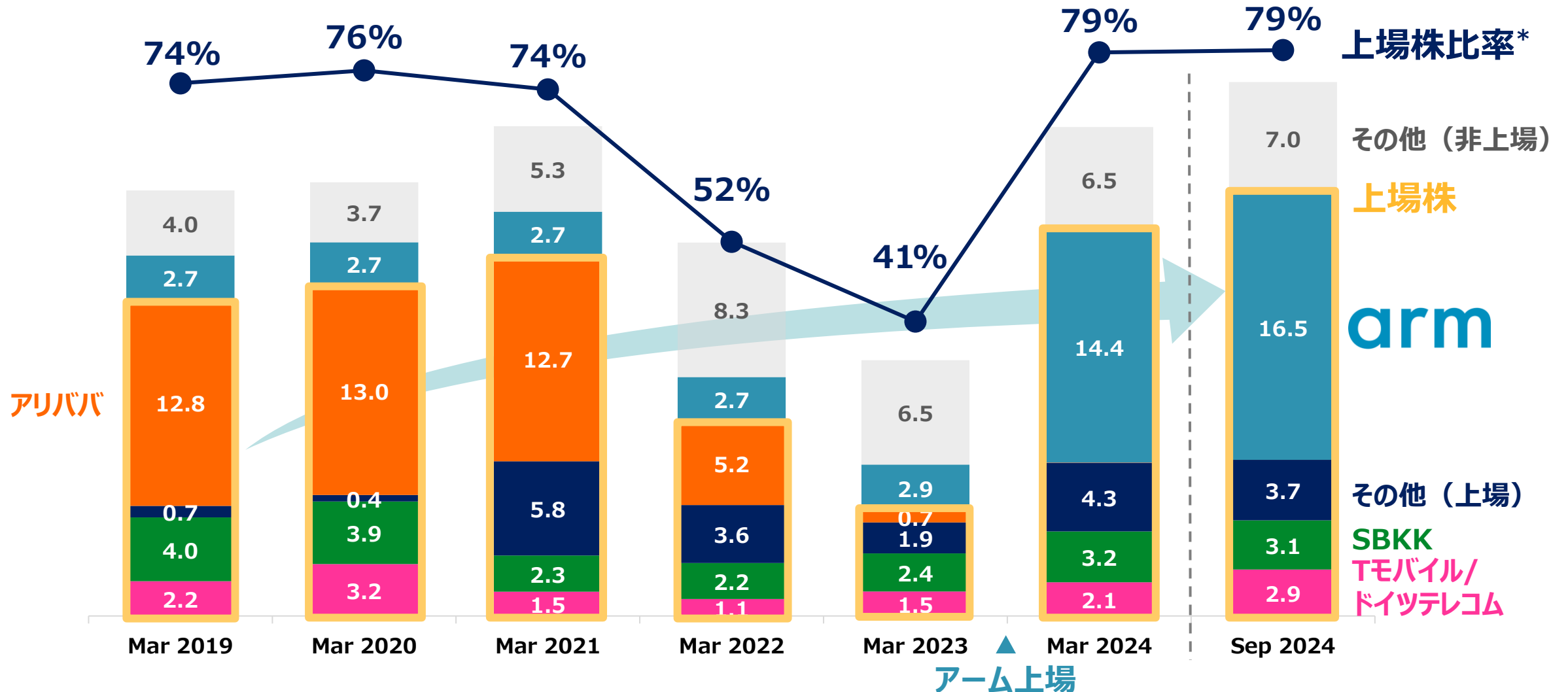


保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

試算値 (2024年9月末) : 2024年9月末時点の資産・負債構成は変わらない前提で、同年11月11日時点の株価・為替レートを適用して試算した参考値であり、将来の値を保証・示唆するものではない。

上場株比率

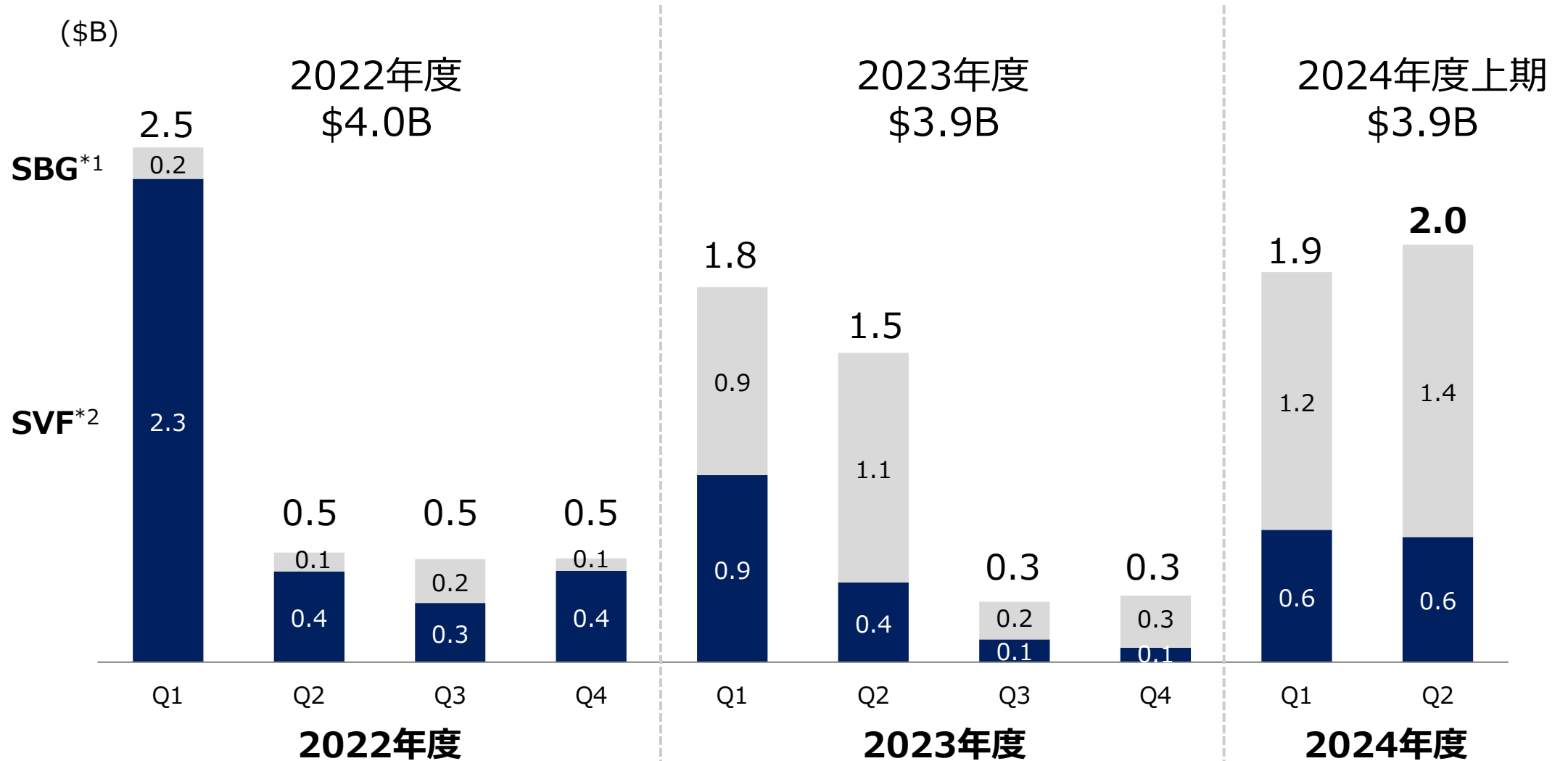
アリババの資金化やアーム上場などを通じてポートフォリオの流動性をコントロール
足元では高い水準を維持



*各期末の保有株式価値合計に占める上場株の割合。アリババ、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2024年3月末以降はアームを含む。(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

投資額の推移 (SVF+SBG)

Q2は\$2.0Bの投資を実行



*1 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く）+ Berkshire Grey（2023年度Q2）、Balyo（2023年度Q3）、SBE Global（2024年度Q2）およびGraphcore（2024年度Q2）の子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。

*2 SVF1、SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

手元流動性と今後の社債償還

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保

手元流動性

3.8兆円^{*1}

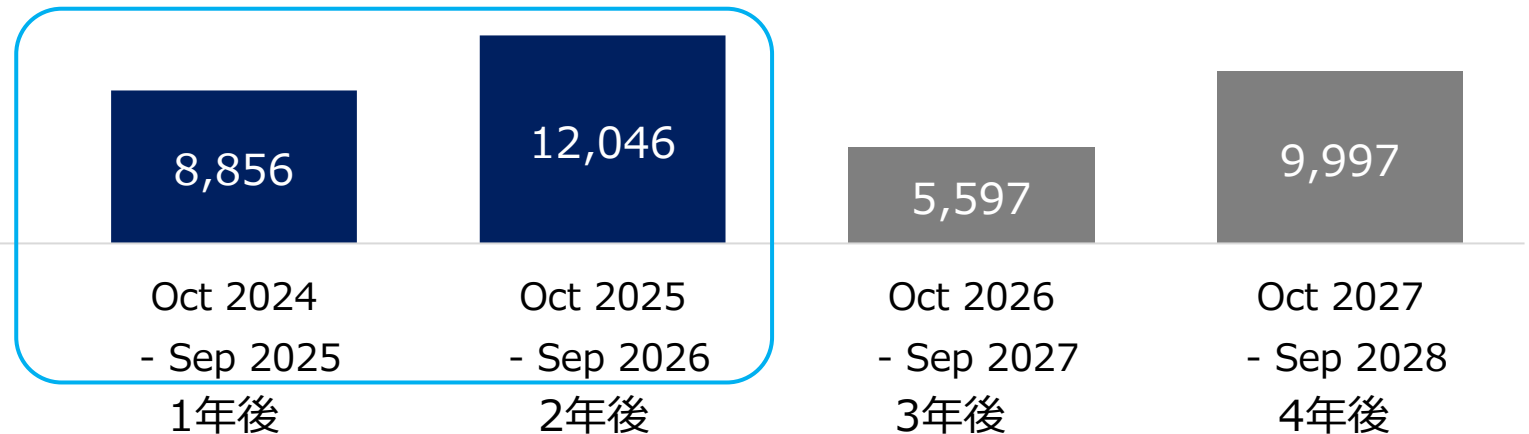


コミットメントライン未使用枠^{*2}

社債償還スケジュール^{*3}

(億円)

今後2年間の社債償還 (2.1兆円)



*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)

*2 2024年9月末時点でコミットメントラインは全額未使用 (8,156億円相当)

*3 2024年9月末時点発行残高

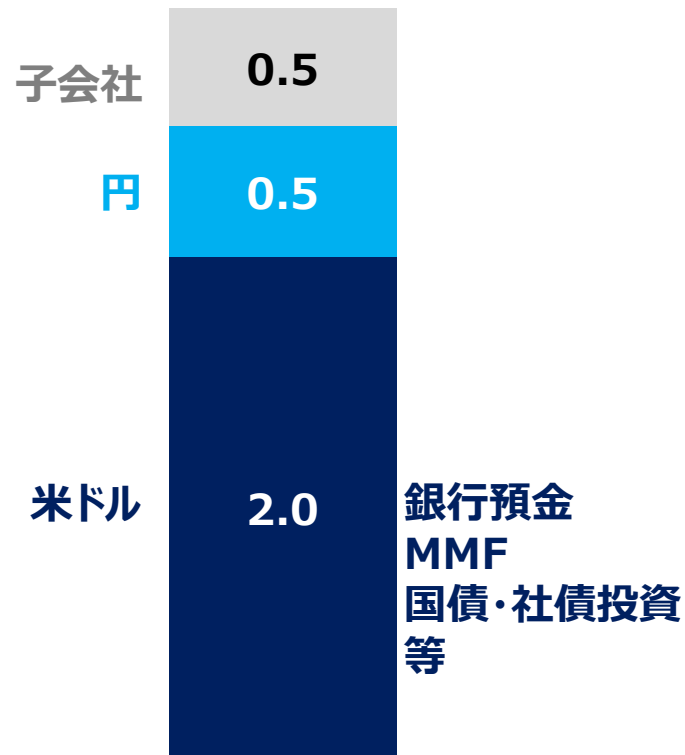
手元流動性の通貨内訳と利回り

主に米ドル預金で高利回りの運用を継続

手元流動性の内訳*1

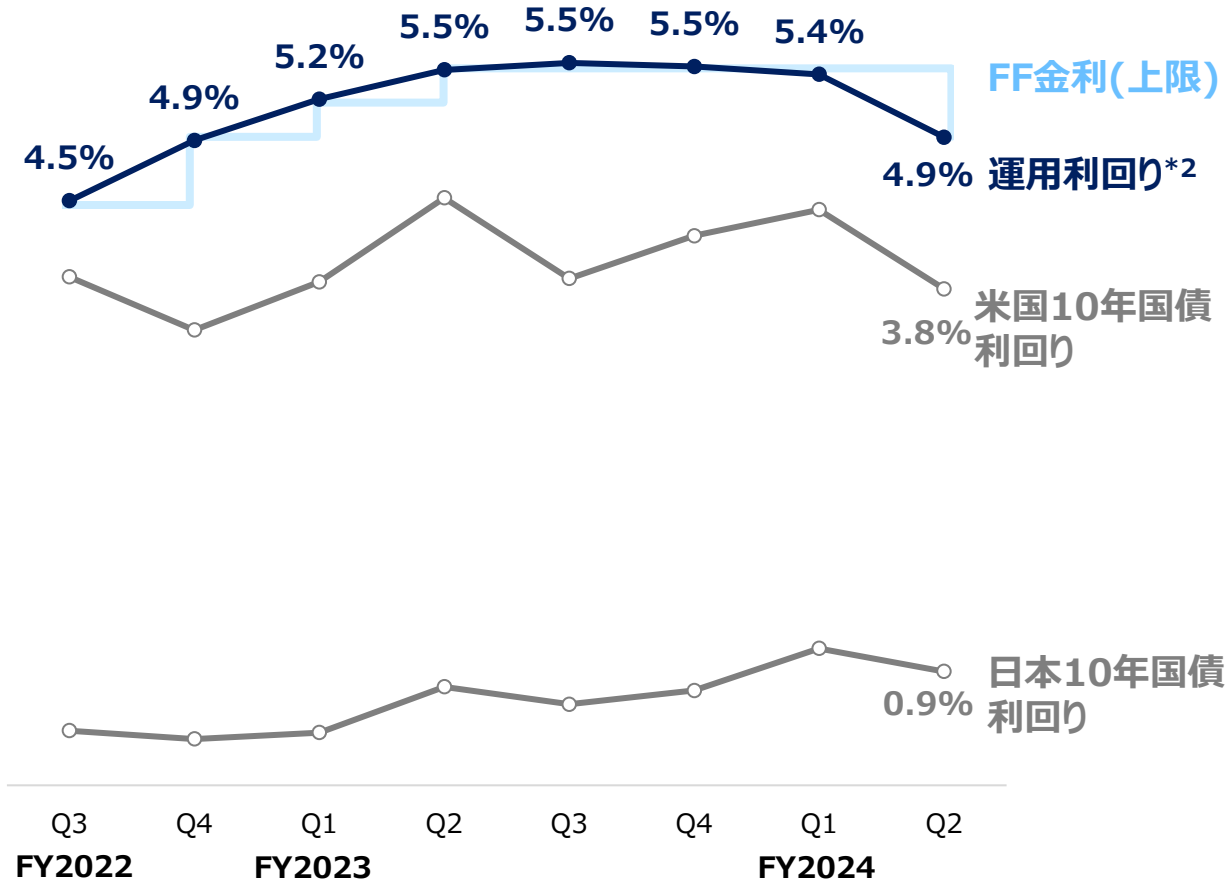
(兆円)

3.0



Sep 2024

当社米ドル預金等の利回り



*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物および債券投資は含む。)

*2 四半期平均

間接調達を活用：直間比率の是正

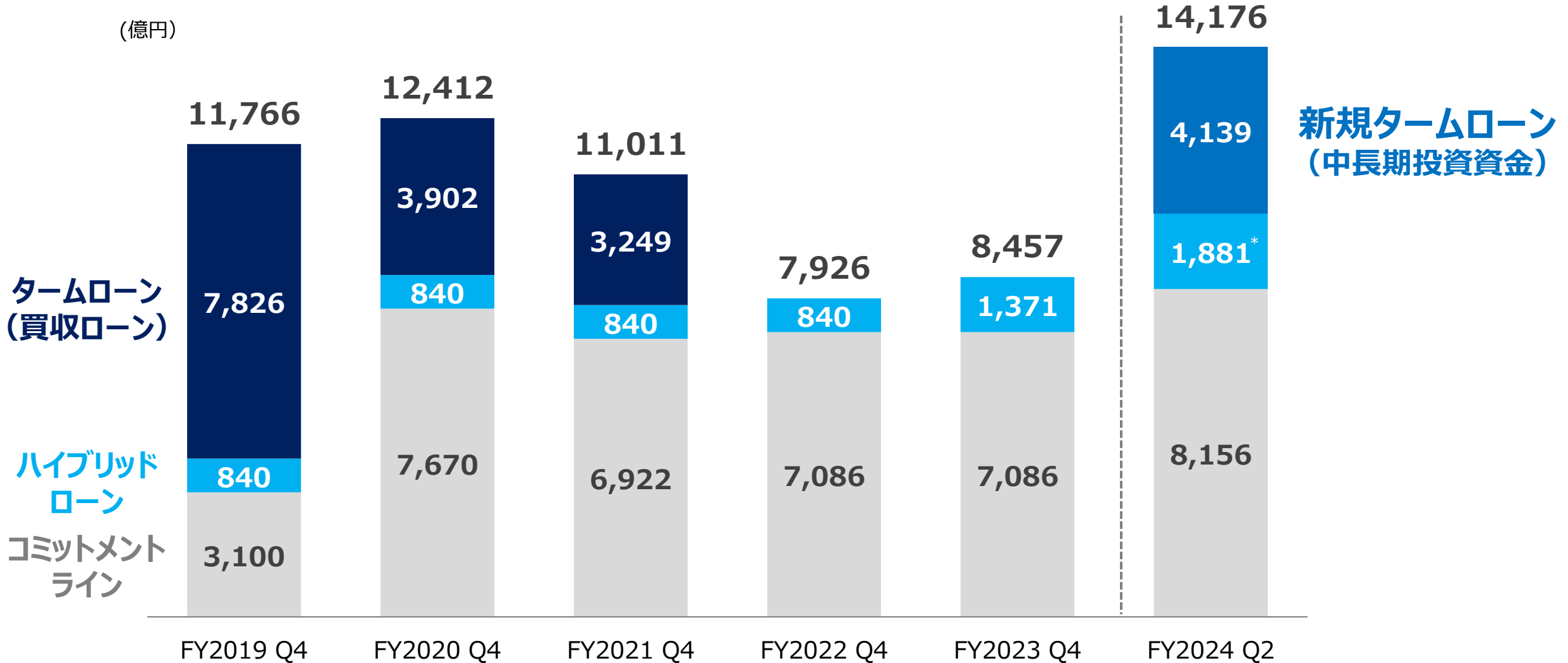
新規タームローンを実行。ハイブリッドローンの増額リファイナンス完了

	コミットメントライン更改	新規タームローン (中長期投資資金)	ハイブリッドローン (リファイナンス)
金額	\$5.5B+356億円 (\$750Mの増額)	\$2.9B (4,139億円*)	1,350億円 (510億円の増額)
実施時期	2024年9月 (2024年9月末時点で コミットメントラインは全額未使用)	2024年9月	2024年11月
年限	毎年更改	3年	35年 初回任意期限前返済日：5年後
参加行/ 社数	23	17	7

* 1ドル=142.73円にて換算

ローンおよびコミットメントラインの残高推移

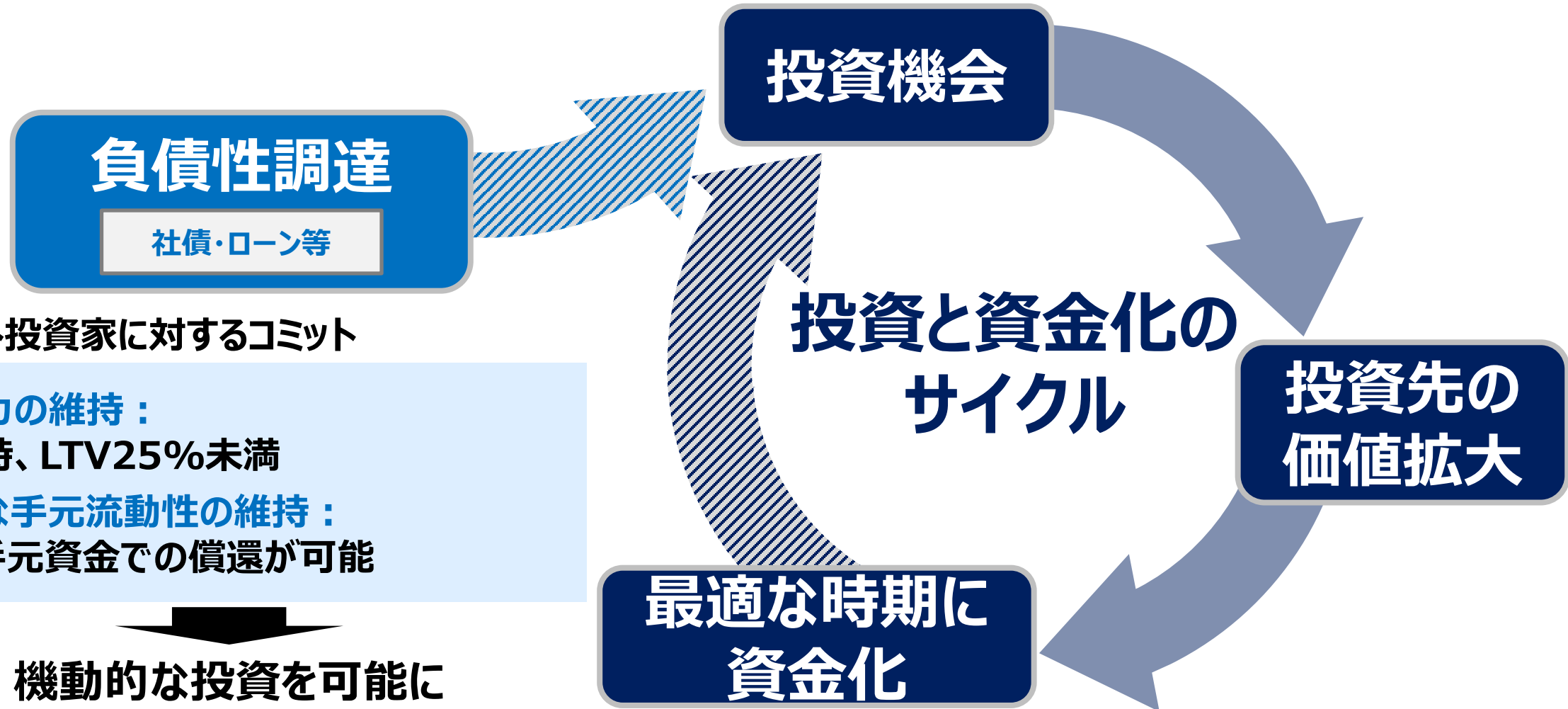
タームローンの返済後、3年ぶりの新規タームローンの組成



• 1ドル=142.73円にて換算
* 11月に実行したリファイナンス後の残高

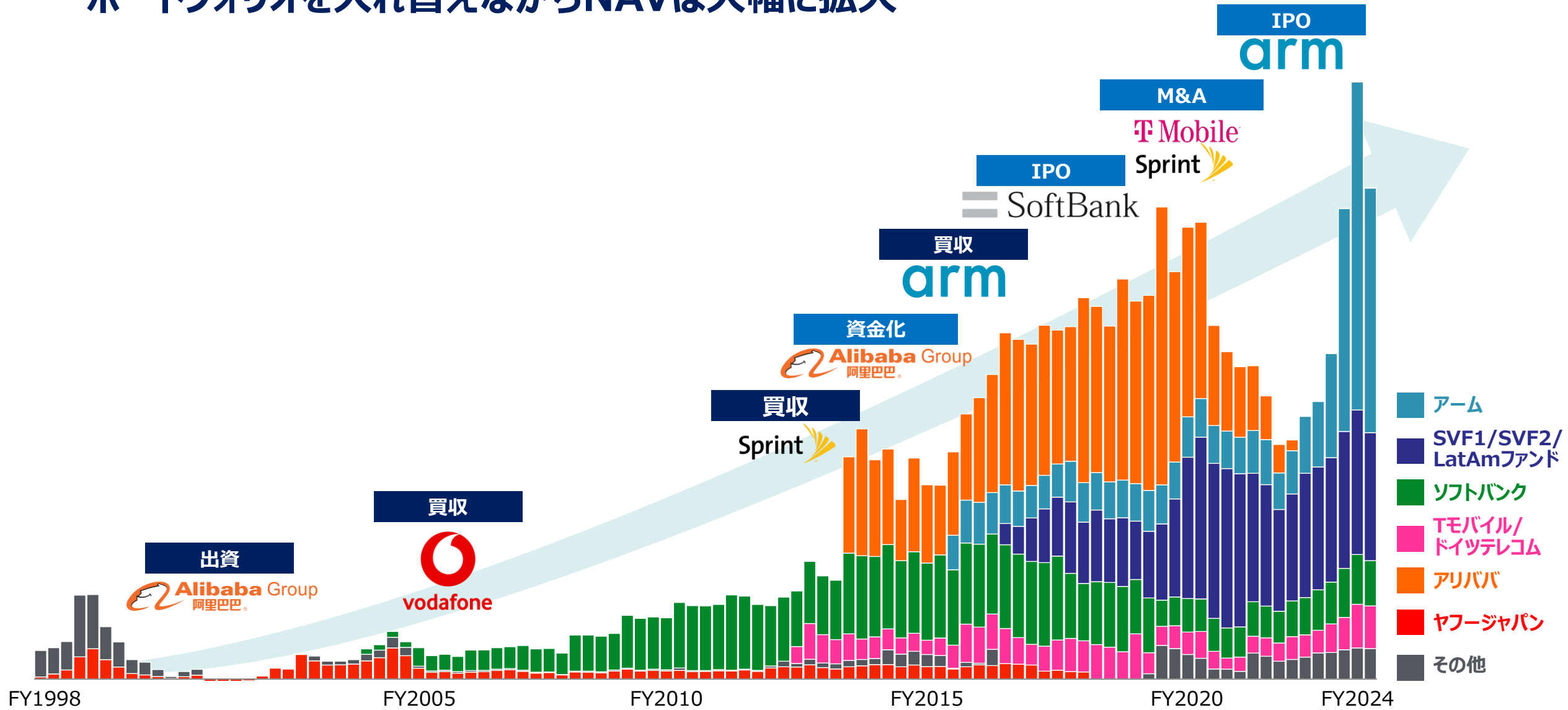
負債性調達的位置付け

負債性調達の活用により、投資機会を捉えリターンの最大化が可能
 投資と資金化のサイクルを繰り返すことで投資家の信頼を強化



NAVの推移

ポートフォリオを入れ替えながらNAVは大幅に拡大



• NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

FY2024 調達・運用方針

社債・ローンについては今年度のリファイナンスを完了
今後の調達は市場環境を注視しながら検討

商品	方針	実施状況
国内債	主にリファイナンスを想定	リファイナンスは完了 来年度の資金需要に備えた調達を検討
外債	主にリファイナンスを想定	
銀行ローン・短期性調達	コミットメントライン ^{*1} ・金銭信託・CPは継続的にロール	コミットメントラインは増額更改完了 金銭信託・CPも継続的にロール
アセットバック・ファイナンス	上場株23.6兆円 ^{*2} を活用した調達の多様化を常に検討	検討を継続
ハイブリッド・ファイナンス	主にリファイナンスを想定 (ハイブリッドローン840億円の初回任意期限前返済日は11月)	リファイナンスは完了
余資運用	MMF・国債・社債など運用の多様化を継続	運用を継続

*1 2024年9月末時点のコミットメントライン枠8,156億円相当は全額未使用

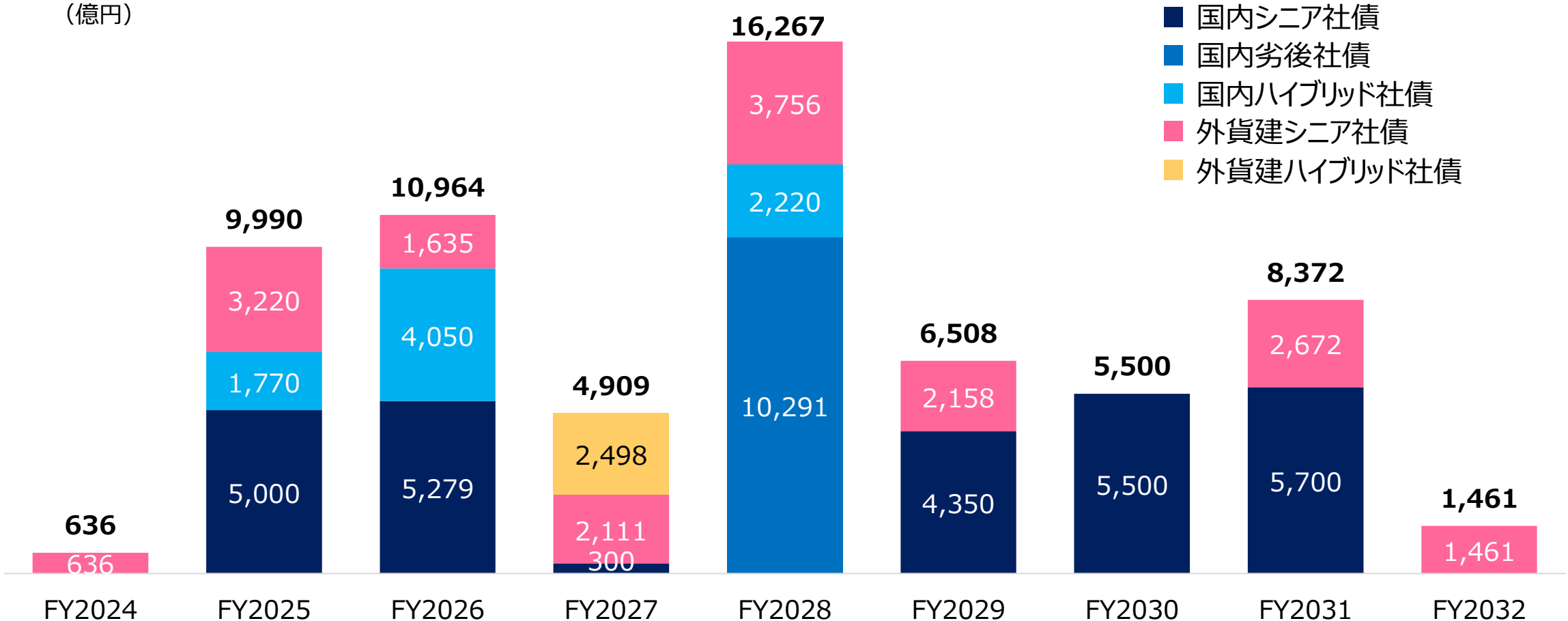
*2 2024年9月末時点。アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコムを含む。アセットバック・ファイナンスを除く。アーム株式取引対価未払金控除前。

社債償還スケジュール

今年度のリファイナンスは完了

今後は手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)

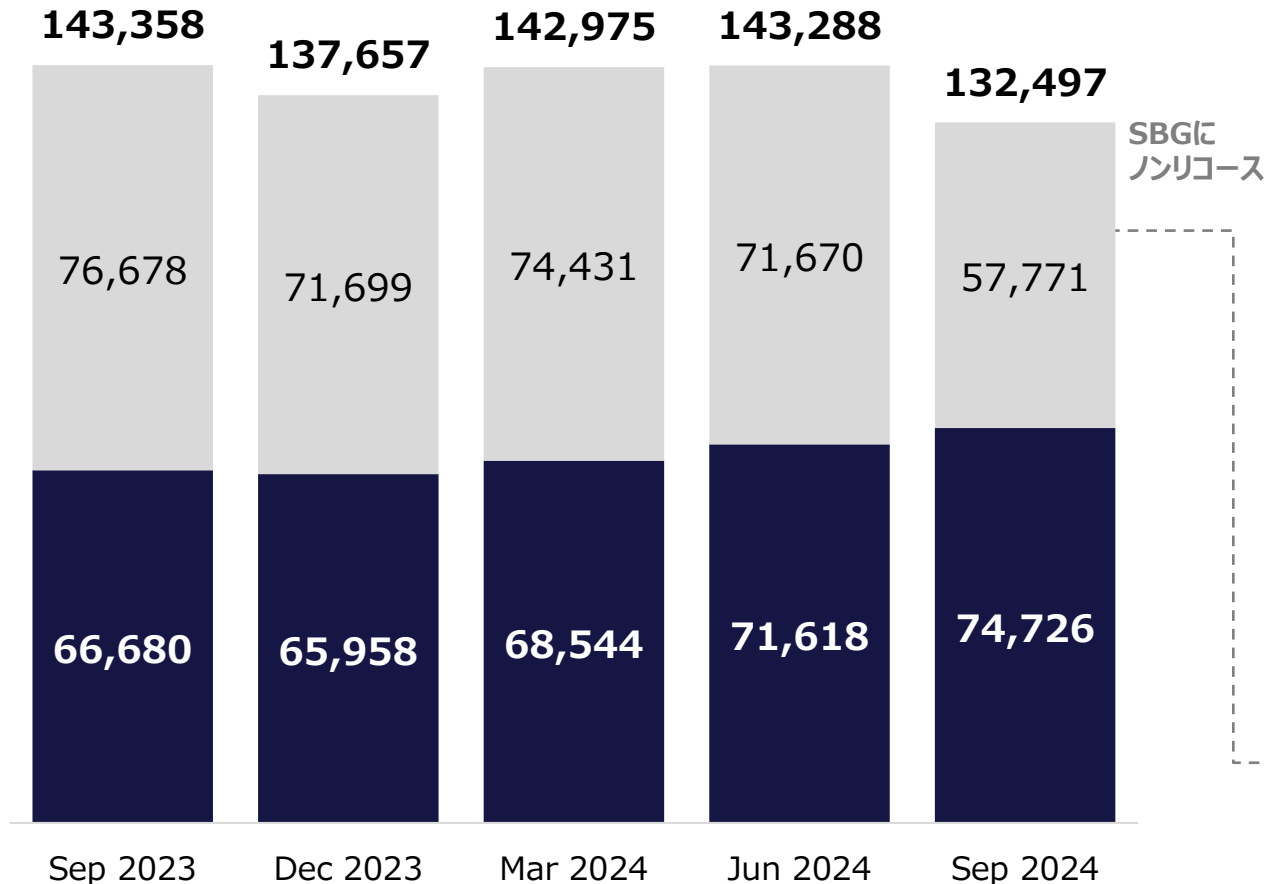


- 2024年9月末時点発行残高
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=142.73円、1ユーロ=159.43円にて換算

SBG単体 有利子負債*1

アリババ株式を活用した先渡売買契約の現物決済等により有利子負債は減少
一方、新規タームローンの借り入れによりリコース負債は増加

(億円)



2024年6月末からの主な変動要因

- 株式先渡契約金融負債の減少 -1兆1,961億円 (うち為替影響 -4,553億円*2)
- シニアタームローンの借入れ +4,139億円
- 社債の発行・償還による増加(ネット) +686億円
- 為替影響(株式先渡契約金融負債除く) -3,895億円*2

2024年9月末 内訳

	(億円)	
	2024年9月末	対6月末
SBG 借入金		
銀行借入	7,558	+4,256
ハイブリッドローン	1,356	+2
小計	8,914	+4,257
SBG 社債・CP		
国内シニア債	25,948	+11
国内劣後債	10,201	+5
国内ハイブリッド債	7,922	+1
外債	19,140	-1,385
CP	1,980	+300
小計	65,191	-1,068
SBG リース負債	87	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡契約金融負債	35,898	-11,961
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,843	-407
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,995	+3
アーム株式を活用したマージンローン	12,036	-1,533
その他	534	-78
小計	58,305	-13,977
合計	132,497	-10,791

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

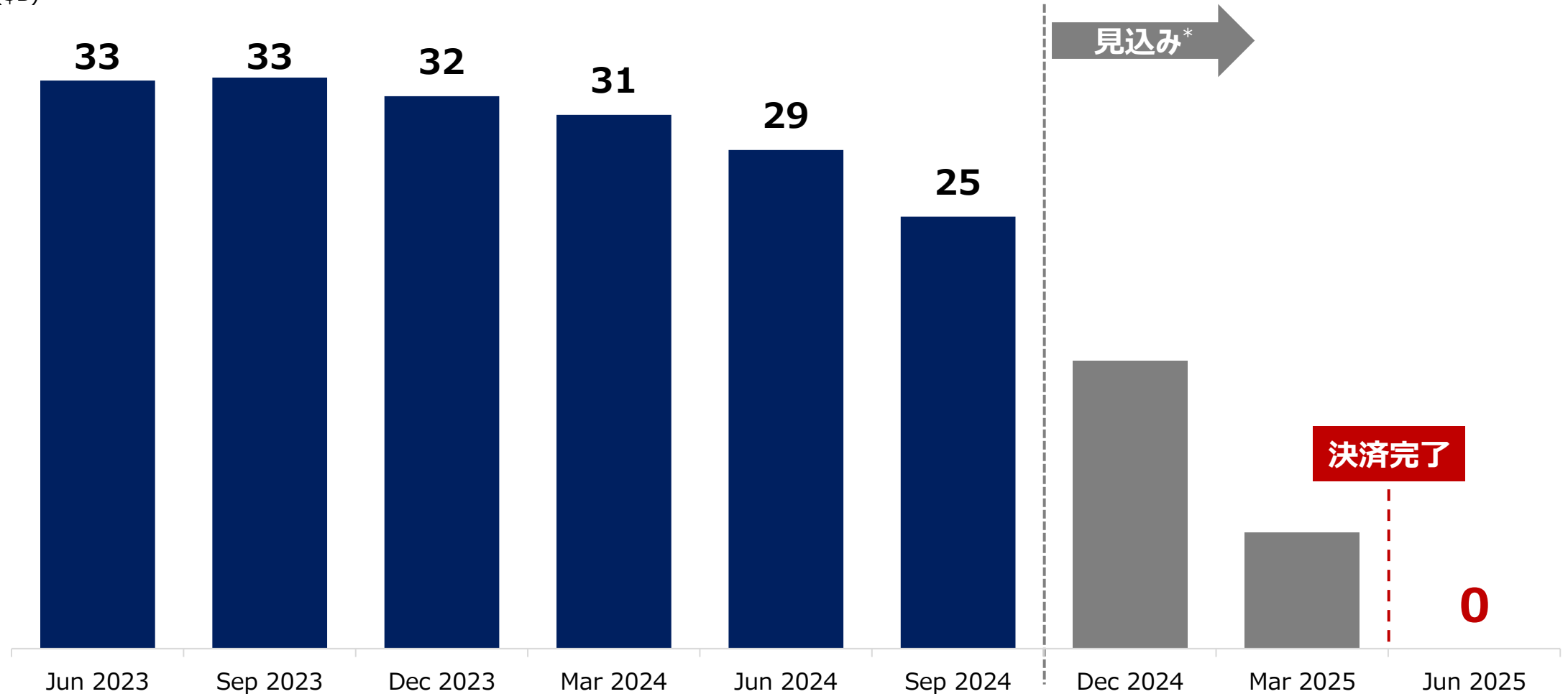
*2 為替影響は概算値

アリババ資金化に係る株式先渡契約金融負債残高

2025年6月までに全案件の決済が完了予定

アリババ資金化に係る株式先渡契約金融負債残高（四半期ベース）

(\$B)



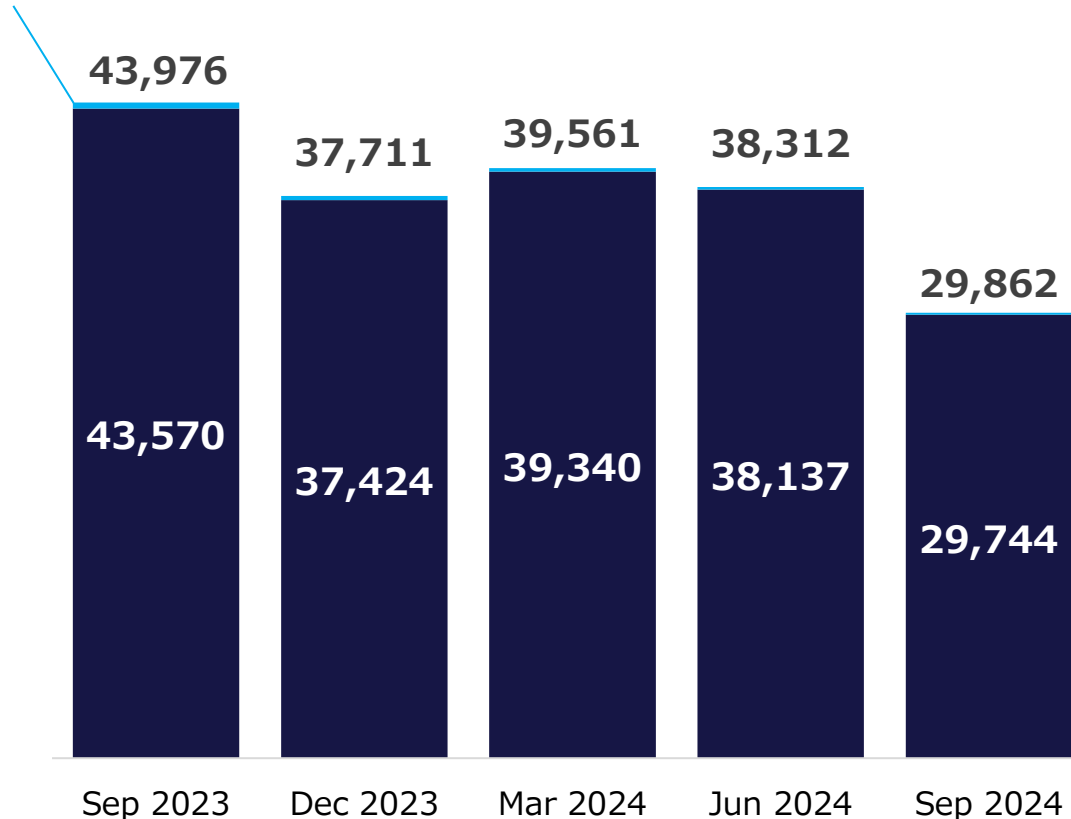
* 契約で定めた期日に決済をする場合の想定残高であり、当社試算値

SBG単体 手元流動性

新規調達を実施した一方、アーム株式取引対価の支払いや投資、為替影響により減少

(億円)

SB Northstar



2024年6月末からの主な変動要因	
増加	減少
・新規タームローン借入れ (+4,139億円)	・アーム株式取引対価の支払い (-\$4.1B)
・社債の発行・償還による純増 (+686億円)	・新規投資・SVFへの拠出金等 (-\$3.0B)
・法人所得税還付 (+767億円)	・自社株買い (-1,538億円)
	・為替影響 (-3,118億円) *1

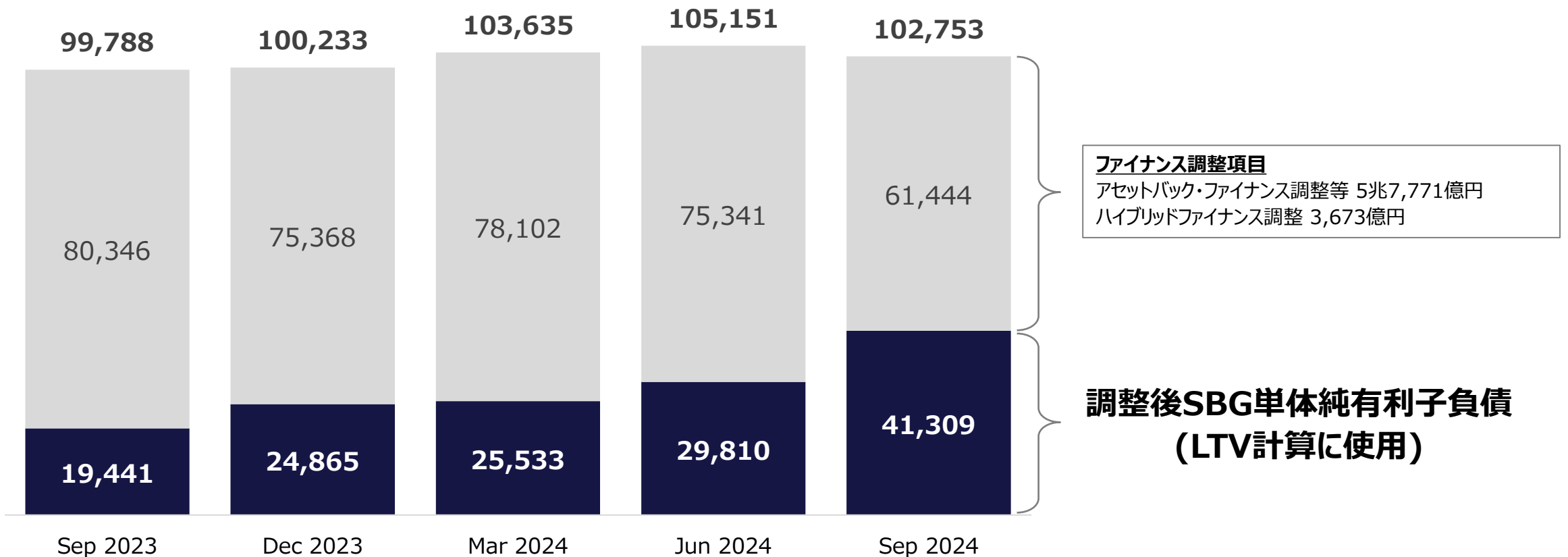
・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 債券投資。SBG単体ベース

*1 為替影響は概算値

SBG単体 純有利子負債

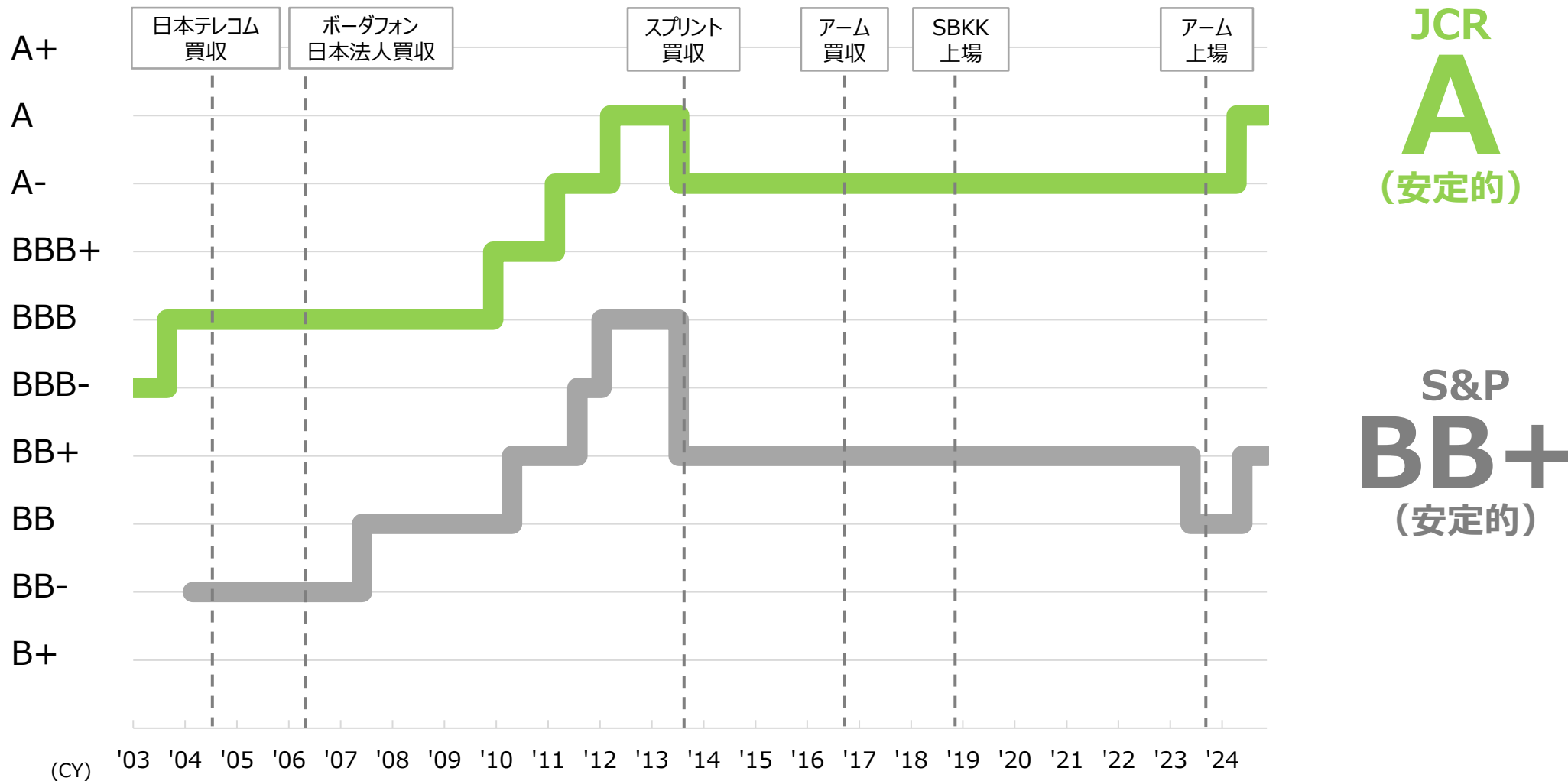
アーム株式取得対価の支払いおよび新規投資により、調整後純有利子負債は増加

(億円)



(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

SBGの格付推移

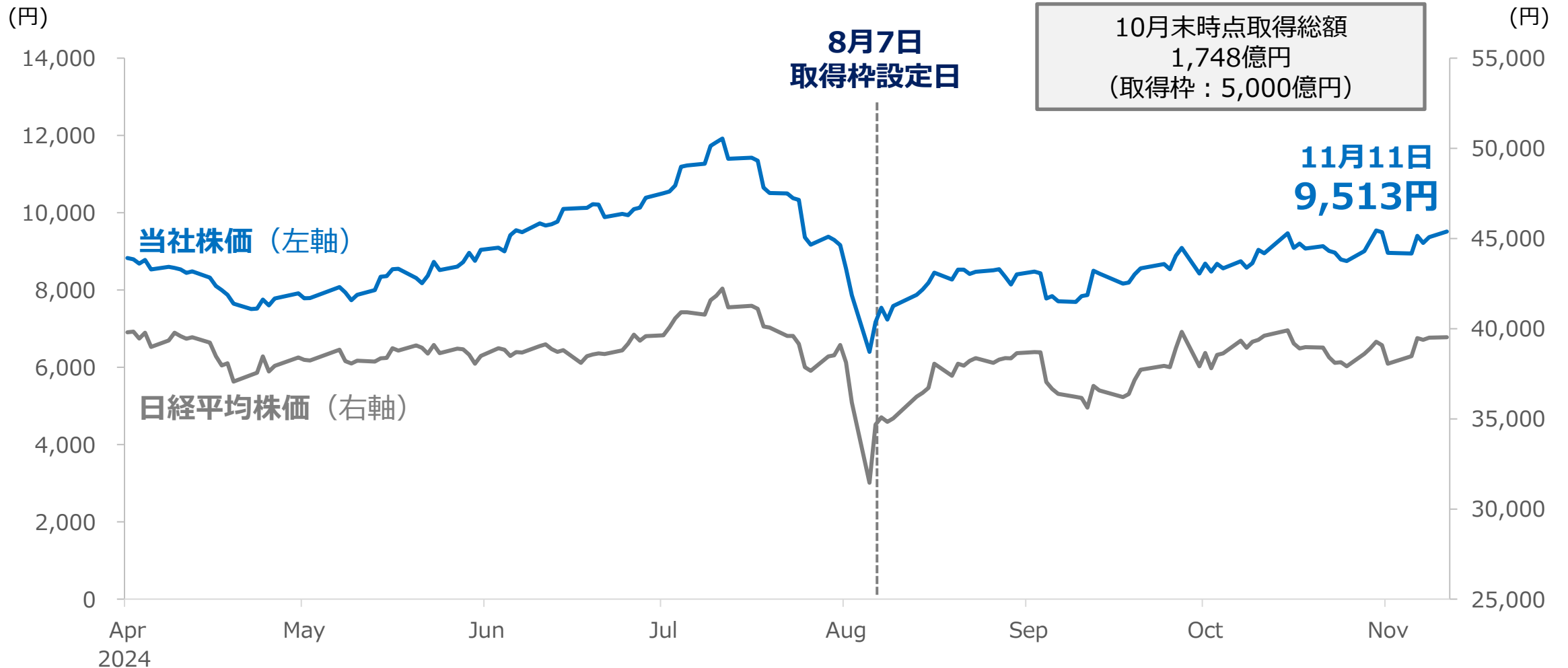


(注) 2024年11月11日時点

当社株価の推移

市場環境の急変後、迅速に自己株式取得枠を設定

当社および日経平均株価の推移



(注) Bloombergを基に当社作成。2024年11月11日時点

将来NAV拡大のための成長投資を最優先

- 潤沢な手元流動性の有効活用
- 戦略投資を支えるノンリコース調達の積極活用
- ポートフォリオのモニタリング強化→回収と再投資

不変の財務原則

あらゆる環境変化へ
柔軟に対応

財務方針の堅持

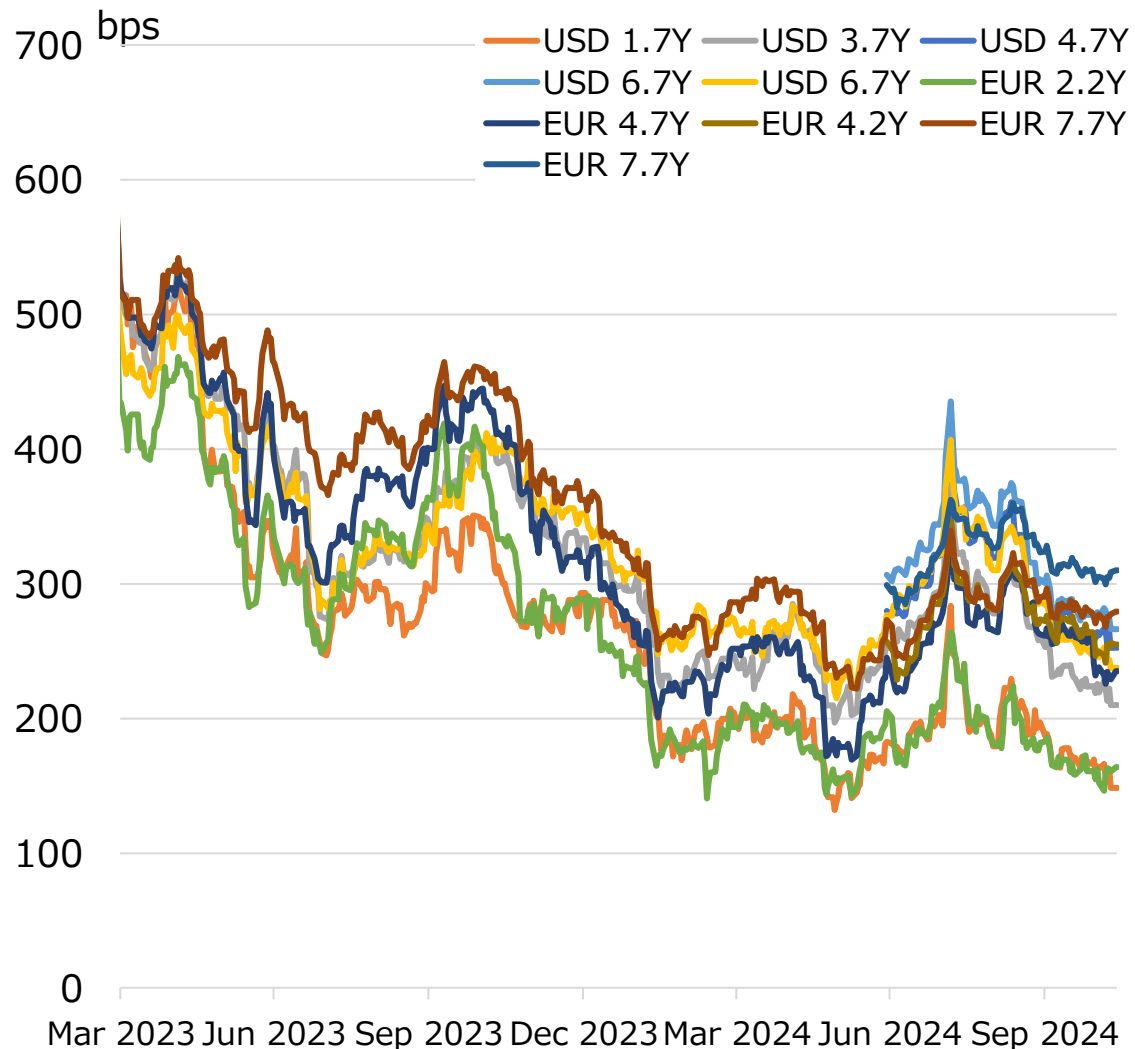
- 1 通常時 LTV25%未満 で運用
(異常時でも上限35%)
- 2 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持
- 3 SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

各ステークホルダーとの
信頼関係構築
(株主還元と財務改善の
最適なバランスを追求)

市場環境の急変に対応し、自己株式取得枠を設定

Appendix

SBG シニア外債スプレッド



SBG 5年CDS



(注) 2024年11月11日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月および2024年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

2024年9月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=142.73円

(兆円)

39.7兆円
(調整前)

保有株式価値
(調整後)

保有株式価値
(調整前)

アセットバック・ファイナンス
調整額

マージンローン
1.2兆円

株式先渡契約等
4.3兆円

マージンローン等
0.5兆円

カラー取引
0.6兆円

株式先渡契約等 4.9

マージンローン 1.7

アーム 16.5

アリババ 0.01
SBKK 3.1

SVF1 3.7

SVF2 4.0

LatAmファンド 0.9

TEモバイル 2.5

その他 2.1

16.5兆円 =

0.01兆円 =

3.1兆円 =

3.7兆円 =

4.0兆円 =

0.9兆円 =

2.5兆円 =

0.4兆円 =

17.7兆円 = 保有株式数 923百万株*1 × 株価 \$143.01*1 - 取引対価未払金*2

4.3兆円 = 保有株式数 282百万株*1 × 株価 \$106.12*1

3.6兆円 = 保有株式数 19,149百万株 × 株価 187.2円

3.7兆円 =

4.0兆円 = 各ファンドの保有資産価値相当 × SBG持分

0.9兆円 = + 成功報酬等

2.5兆円 = 保有株式数 85百万株 × 株価 \$206.36

0.9兆円 = 保有株式数 225百万株 × 株価 €26.39

33.1兆円
(調整後)

ドイツテレコム
0.4

Sep 2024

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価

*2 SVF1からのアーム株式買取に伴う未払金79億米ドル（1.13兆円相当）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

4.13兆円

= 12.5%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

33.14兆円



(兆円)	調整後SBG単体 保有株式価値	主要株式	SVF1&2/LatAmファンド に対する投資持分	その他 上場株投資等
	33.14	22.44	8.64	2.06

	アーム	アリババ	SBKK	Tモバイル	ドイツテレコム
調整前	17.70*2	4.27	3.58	2.51	0.95
アセットバック・ファイナンス	-1.20	-4.27	-0.53	-	-0.58
調整後	16.50	0.01	3.06	2.51	0.37

SVF1	+3.65
SVF2	+4.04
LatAmファンド	+0.94

(注) 2024年9月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

*2 SBGの保有株式数×Arm株価（18.83兆円）-アーム取引対価未払金（1.13兆円）

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アーム	16.50	
調整前	17.70	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価（18.83兆円） - SVF1からのアーム株式取得に伴う未払金（79億米ドル;1.13兆円）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.20	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,036億円）
(b) アリババ	0.01	
調整前	4.27	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-4.27	複数の株式先渡し買契約（カラー契約・フォワード契約）のうち、未決済分の満期決済金額（2024年9月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（4兆2,668億円）
(c) SBKK	3.06	
調整前	3.58	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.53	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,264億円）
(d) SVF1	3.65	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(e) SVF2	4.04	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(f) LatAmファンド	0.94	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額等

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	2.51	SBGの保有株式数×同社株価
(h) ドイツテレコム	0.37	
調整前	0.95	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.58	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（5,797億円）
(i) その他*	2.06	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分
SBG単体 調整後保有株式価値	33.14	(a)～(i)までの合計額

(注) 2024年9月末時点

* SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債の一部と見なし、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。
 （同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年9月末においていずれもゼロ）

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

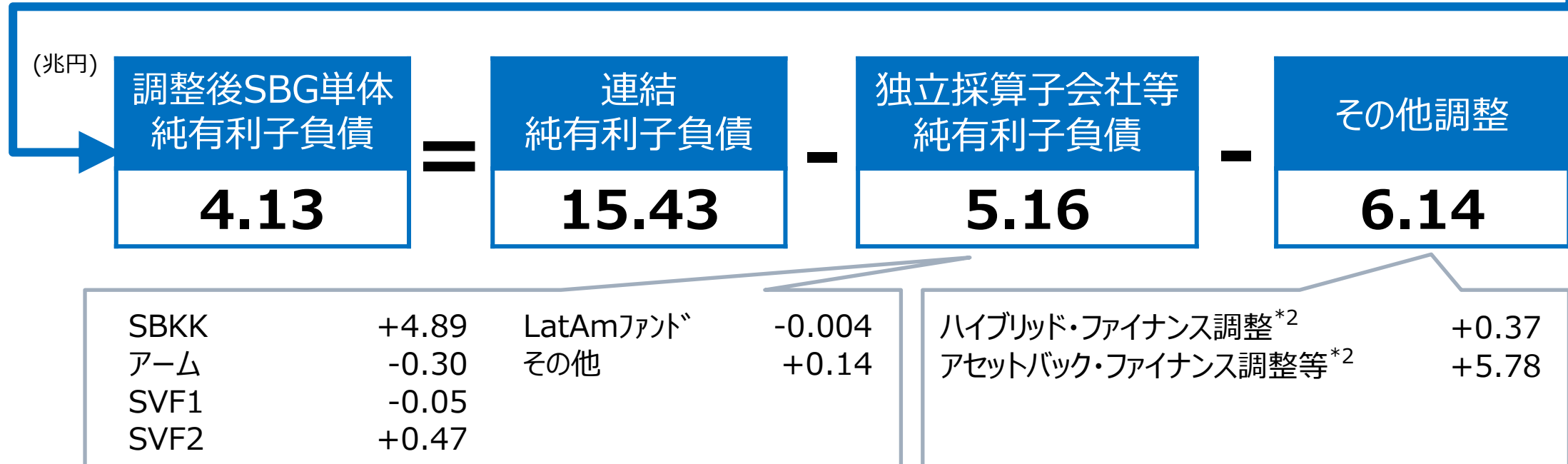
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

4.13兆円

=12.5%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

33.14兆円



(注) 2024年9月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債	10.28	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等^{*1}の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.37	ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整等	-5.78	
アーム	-1.20	同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆2,036億円）
SBKK	-0.52	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,230億円）
ドイツテレコム	-0.48	2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,843億円）
アリババ	-3.57	アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（3兆5,662億円）
SBG単体 調整後純有利子負債	4.13	

(注) 2024年9月末時点

・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資

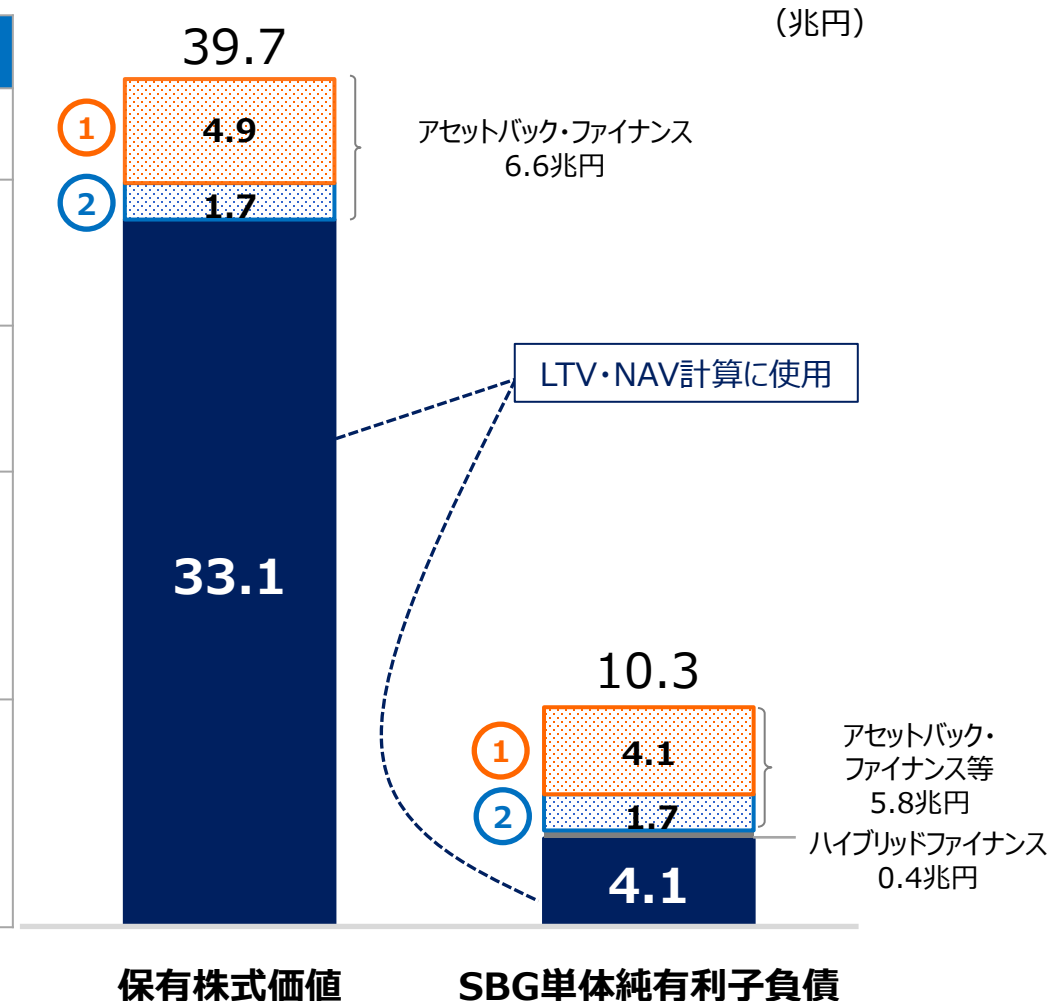
*1 独立採算子会社等はSB Northstarを含む。ただし、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債に含める。

（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2024年9月末においていずれもゼロ）

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

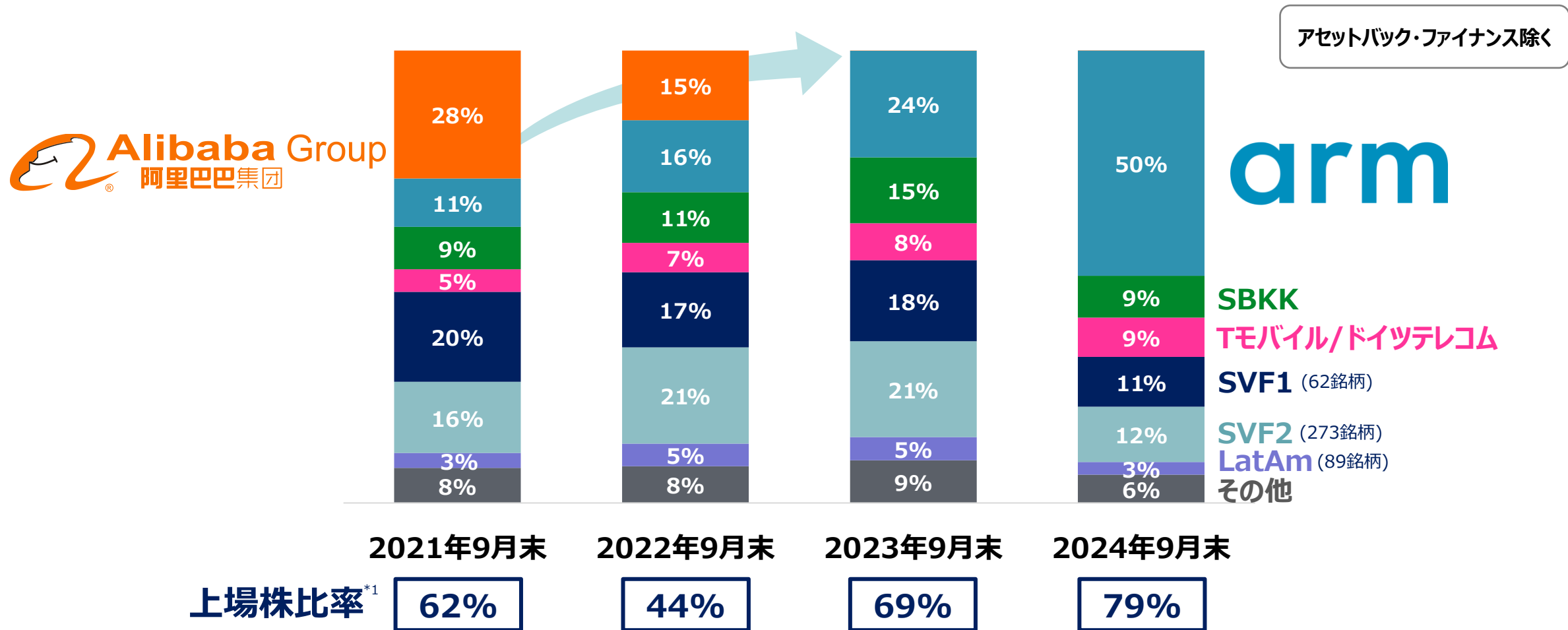
	① フォワード／カラー	② マージンローン
主な対象株式	アリババ／ドイツテレコム	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約* ¹ に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変



(注) 2024年9月末時点

*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

保有株式価値の内訳



(注) 保有株式価値の各9月末時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

*1 アリババ、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2023年9月および2024年9月末はアーム含む。

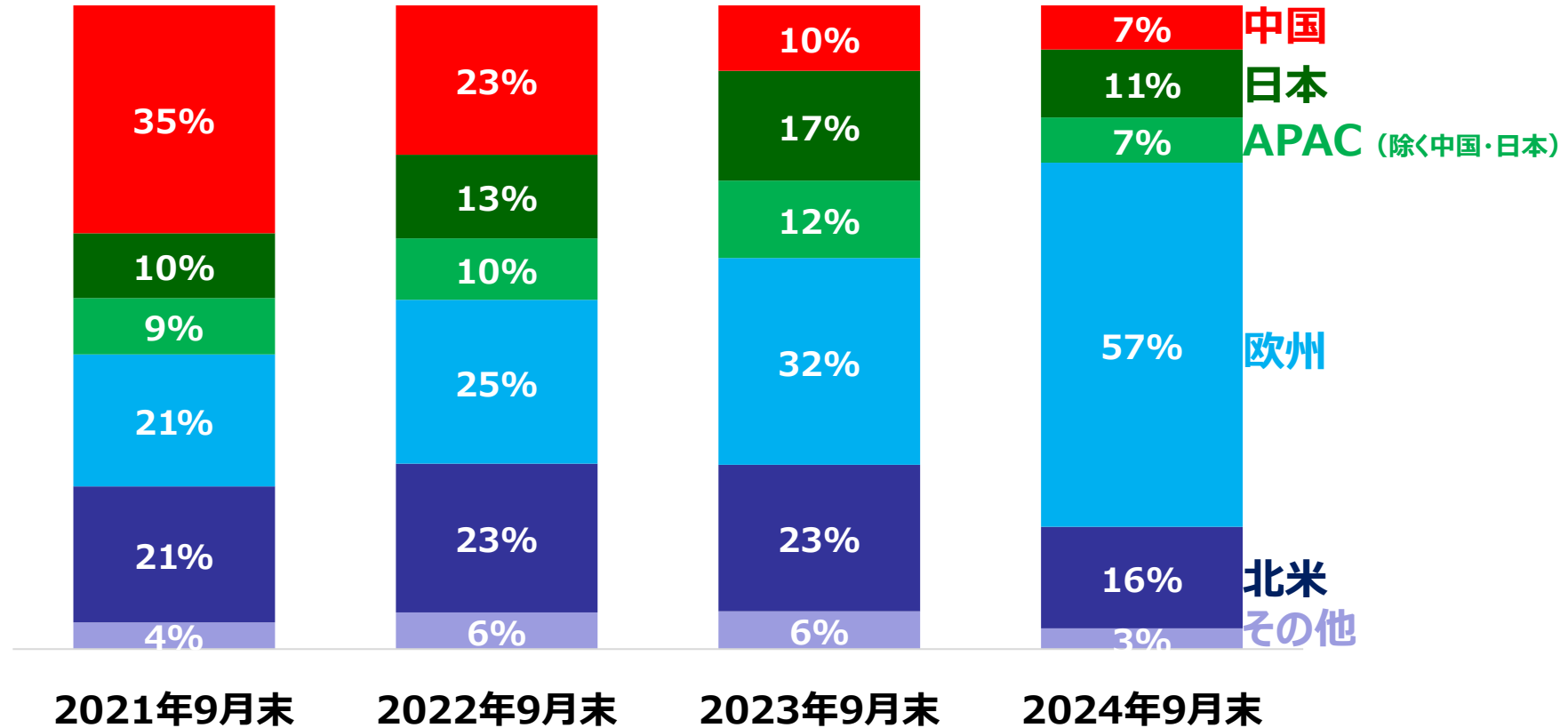
(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

ポートフォリオの地域分散

中国株式の割合が大幅に減少

アームの価値増により欧州の割合が大幅に増加

アセットバック・ファイナンス除く



(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類

中国：アリババ、SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：ソフトバンク、SVF1・SVF2(日本相当)およびその他の日本投資の合計

APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計

欧州：アーム、ドイツテレコム、SVF1・SVF2（欧州相当）およびその他の欧州の投資等の合計、北米：TEモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計

その他：本社所在地が中国、日本、APAC、欧州、北米以外への投資の合計

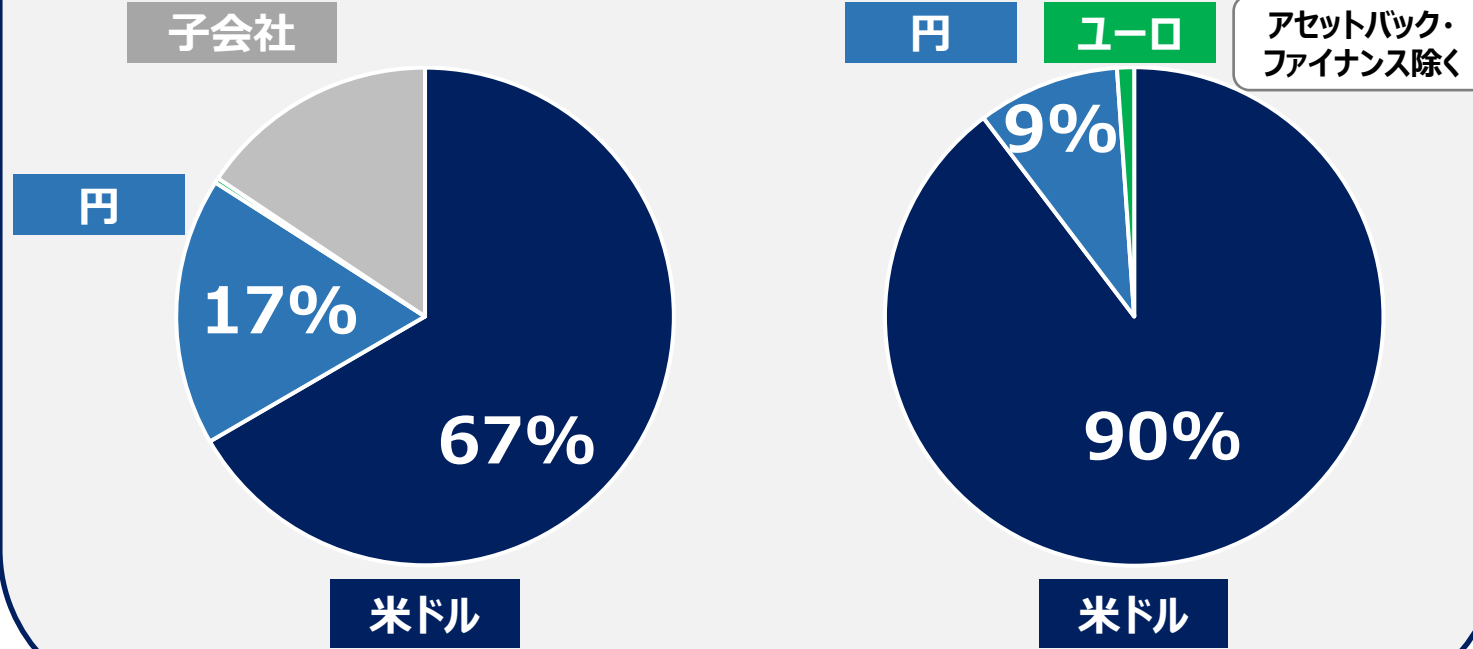
通貨内訳

投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

投資と資金化

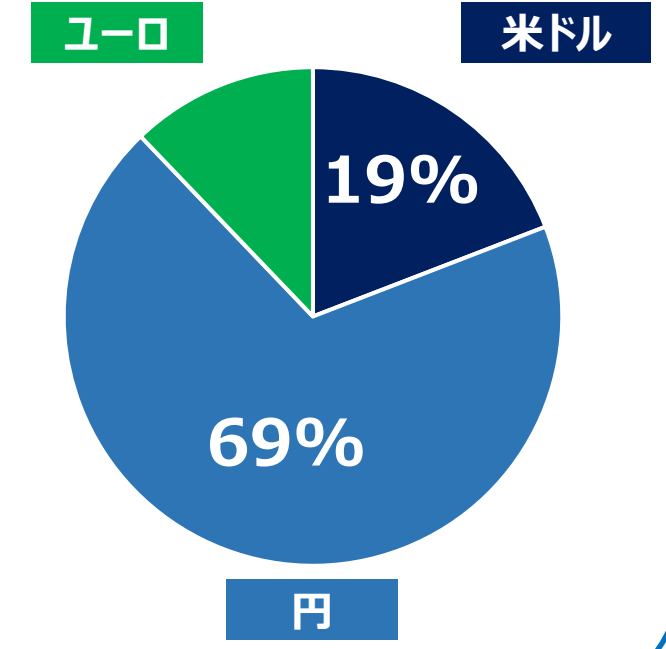
手元流動性：3.0兆円*1

保有株式価値：33.1兆円*2



負債構成

有利子負債*3：7.4兆円



(注) 2024年9月末時点。1ドル=142.73円、1ユーロ=159.43円を前提に、円建て換算

*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

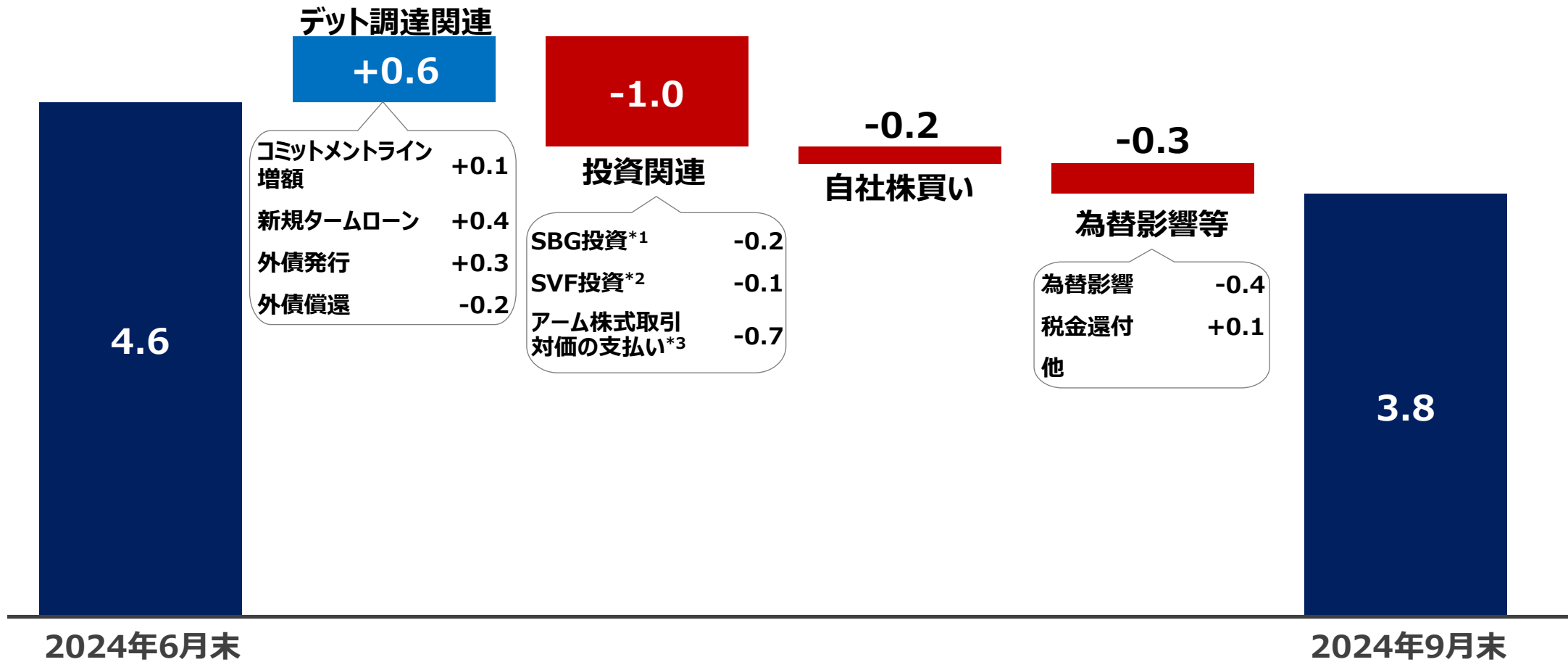
*2 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照

*3 2024年9月末時点のSBG単体有利子負債 (ノンリコースの有利子負債及び子会社有利子負債における「その他」を除く)

手元流動性増減要因 (FY2024Q2)

アーム株式取引対価の支払いおよび為替を主因に手元流動性は減少

(兆円)



• 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。）手元流動性の増減要因に関する情報は、イメージを説明する目的で提供される参考値

*1 SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く） + SBE GlobalおよびGraphcoreの子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。

*2 SVF1、SVF2およびLatAmファンドにおける新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

*3 2023年8月に当社100%子会社がSVF1が保有していたアームの普通株式を161億米ドルで取得し、4分割で行う取引対価の支払いのうち、2024年8月に第2回目として41億米ドルの支払いを実施

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024
SBG単体	143,358	137,657	142,975	143,288	132,497
うち、SB Northstar	-	-	-	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	5,422	5,132	5,479	5,831	5,083
ソフトバンク事業	63,260	64,719	63,211	66,420	62,632
その他（アーム等）	1,898	1,839	1,956	461	3,059
合計	213,937	209,347	213,620	215,999	203,271

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024
SBG単体	43,976	37,711	39,561	38,312	29,862
うち、SB Northstar	406	287	222	176	118
SVF1&2、LatAmファンド	796	657	1,760	727	870
ソフトバンク事業	17,833	18,650	17,923	16,507	13,693
その他（アーム等）	4,510	4,693	5,523	4,261	4,506
合計	67,115	61,710	64,768	59,808	48,931

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Sep 2023	Dec 2023	Mar 2024	Jun 2024	Sep 2024
SBG単体	99,381	99,946	103,413	104,976	102,635
うち、SB Northstar	-406	-287	-222	-176	-118
SVF1&2、LatAmファンド	4,626	4,476	3,719	5,104	4,213
ソフトバンク事業	45,427	46,069	45,287	49,913	48,939
その他（アーム等）	-2,612	-2,854	-3,567	-3,801	-1,447
合計	146,822	147,637	148,852	156,191	154,340

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。手元流動性に債券投資を含むが、2023年9月末は国債投資のみ。PayPay銀行の手元流動性は含まず、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資（2023年12月末以降）を含む。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ